

スポーツ外国語学科

3つのポリシー

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

スポーツ外国語学科は、グローバル化が進むスポーツ界において、通訳を介さなくとも「外国人と意思疎通がはかれる」高度スポーツ人材を育成します。そのため、学生が卒業時に身につけているべき能力や知識を次のように定めています。以下の能力を備え、学則その他諸規定に定める卒業要件を満たした者に「専門士」を授与します。

1. 卓抜した外国語運用能力を実践的かつ高度に運用できる。
2. 幅広い教養を身につけ、多様な価値観の認識・尊重と正しい異文化理解に基づいて、グローバル・スポーツ界で他者と協調・協働し活躍することができる。
3. それぞれの分野における知識、技能などを体系的に理解している。
4. 修得した知識体系や技能などを、実社会やスポーツ現場と結びつけて理解することができる。

また、卒業時において全員が国際コミュニケーション英語能力テスト（TOEIC）で 600 点（外資企業英語能力平均数値）に到達することを目標とします。

教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

外国語科目、教養科目そして専門科目 3 つの科目区分からなる授業科目を体系的かつ順次的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を実施します。

1. 教育内容

- ・実践的かつ高度な語学運用能力の基盤を築くため、学科独自の外国語習得プログラムを実施する。
- ・TOEIC 高得点（600 点以上）を獲得するため、TOEIC 集中講義を必修科目として設置し、IP テストを2年間で4回実施する。
- ・コミュニケーション能力を修得するため、グループワーク、ペアワーク、またプレゼンテーションなどを織り交ぜて多角的に展開する。
- ・日本語での自己表現・情報発信力を高めるための専門科目を展開する。
- ・日本スポーツ協会の教育カリキュラムに準じ、共通科目と専門科目のカリキュラムによって体系的な学習を促すカリキュラムを展開する。
- ・日本スポーツ協会の教育カリキュラム以外に、専門性を学術的にも実践的にも更に高め

ていくことを促すカリキュラムを展開する。

2. 実習内容

・実践的にスポーツ専門知識・技術・技能を修得するため、各種競技団体の試合・練習運営補助員として現場で活動を実施する。

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

学科の理念・目的を理解し、その達成に真摯に取り組む意欲のある人材を求めています。

1. 実践的な外国語運用能力を身につけ、グローバル化するスポーツ界で活躍する仕事に就く意欲がある者。
2. 外国語や日本語で情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えるために、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持つ者。
3. 語学力修得と並行して、スポーツ専門スキルの取得のため学業に励む強い意志がある者。
4. 広い視野を持ち、謙虚な姿勢で全ての物事を勉強・成長として捉えることができる者。
5. TOEIC 400 点レベル相当の語学力を有する者。